

平成20年 4月 第265号

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館
☎364-8442

ふれあい

〈掲載目次〉

- 清流貞山運河に・・・
- 地区防災リーダー
フォローアップ受講して
- 善意バザーへの出品への
御協力に感謝申し上げます
- 防犯研修会に参加して

- 大代地区公民館まつりに思う
 - 大代の歩み(二)
 - ふれあい俳句
 - ふれあい短歌
 - 大代地区公民館だより
- 【平成二十年度五・六月開催講座受講生募集】

清流貞山運河に・・・

大代西町内会長 伊藤 要

大代地区コミュニティ推進協議会の事業である年二回の環境美化事業として毎年春・秋二回多賀城市域の貞山運河周辺の缶・瓶等の回収清掃を行っております。

その貞山運河に「プレジャーボート」が数多く係留されております。貞山運河を管理している宮城県の出先機関である仙台東土木事務所にお聞きしましたところ、公共係留箇所は許可し占有を認めているのは、多賀城市が大代船溜管理組合に管理を委託している領域のみと言うことであります。

それ以外の多くの「プレジャーボート」は許可を受けないで係留していることとなります。西側はきれいに護岸され、階段もあり水と親しむところに鉄パイプ等で無造作に棧橋のような物が作られ、「プレジャーボート」が両側に係留されていて、川幅の三分の二を占有している状態です。大代橋の上から見ると上流、下流ともに異色の光景が目に入ります。この様に不法係留されている状態では、川の流れを阻害し、そこに漂流物が滞留しそれがやがて沈殿します。また不法係留するために無造作に打ち込まれた数多くの鉄パイプが長い間に腐食して使用出

来なくなるとそのまま放置され、川底に鉄パイプの廃材ゴミとなるのです。

不法係留の行為により鉄パイプばかりでなく、沈船、タイヤ、自転車、椅子等といったあらゆる物が川底に廃棄物として沈んでいます。特に干潮時になると多くの方々が目にはしているのではないのでしょうか。

このように「プレジャーボート」を不法に係留されている状態を確認している河川管理者である宮城県(仙台東土木事務所)は、「プレジャーボート」の舟数、所有者等の調査もせず(出来ず?)放置しているとしか思えません。

これら「プレジャーボート」の所有者等を登録されている機関もあると聞いておりますので、宮城県(仙台東土木事務所)は現状を調査して、その所有者に不法係留である旨を告知すれば解決出来ると思えます。

仙台東土木事務所ではプライバシーの問題もあるので、と煮え切らないようですが、では現在どのような方策を取っているのですか、と聞くと看板を掲げていると言うことなので看板を見ますと「川をきれいにしましょう、川はみんなのもので、ふるさとの川を守り、美しい川にしましょう。」宮城県となっております。不法係留禁止の文字はありません。

このように河川管理者が消極的な行政をしていれば、更なる汚れた貞山運河になる

のではないでしょうか。

また近い将来、上流に少しづつ不法係留が増加して念仏橋上流そして多賀城駅前まで係留された時には、景観的に多賀城市が不法係留「プレジャーボート」を論ずるのではないのでしょうか。それでは遅すぎます。

そのプレジャーボートを利用する人は近くの路上に駐車をすることもあるので、近くに居住する方々の門前に置かれ迷惑を受けている方もいると思われれます。良い住環境を保全するためにも不法係留「プレジャーボート」に不安を抱く方々も多いと思います。

現在貞山運河を再生し観光的に利用しようとする運動「貞山運河の魅力発見協議会（平成十九年八月設立）」も行われております。

大代船溜管理組合も「みんなの力でもっときれいな貞山運河に・・・」と看板を掲げております。

子孫に良い自然環境を残すために、「不法係留プレジャーボートのない」きれいな美しい貞山運河にしたいものです。

地区防災リーダー

フオローアップ受講して

大代東 佐藤 捷逸

防災リーダー、フオローアップ受講して、

多くの方々のお話を聞くとき、まず大切な

ことは日常生活の中から無理なく災害に備えることが防災のように感じました。

たとえば、地震時の火災に備えお風呂の水を貯めて置くとか、お茶を飲むために沸かした後のやかんは空にして置かないとか、付近にある環境も掌握しておいて災害時に最大限に利用出来るものは利用出来るようにすることも大切なことと思いました。東京都のある一部で何度もしサイクルして水を飲んでいふことを知りました。ここで私たちも、同じように貞山運河の水を飲めるかどうか、考えてみました。こんな人もいます。

私は飲みたくないです。で、七ヶ浜で治水があることを何かの文献で読んだことがあるので水道部に伺ったことがあります。今は稼働していないと言うことでした。では、我が町内自水はと思いきすとき、おなじ事でした。安全で安価で大量に使える水に切り替えられてしまったのです。ここで私たちの考えたいこと、綺麗な安全安心な水を災害のために、一日三リットル（一人）備えればお茶として、菓の飲み水としても使えます。二リットル六本入り七百元程度で購入できます。それから各地の天然水を飲む楽しみとして災害に備えてみては

いかがだろうか？それから汚水処理場から排出される一日二二二、〇〇〇㎡の排水を利用したいとか？災害の時に汚水配管は

切断は考えにくいことも聞いてまいりました。平成二十四年まで宮城県沖地震に耐えられるだけの工事中であることも伺ってまいりました。何か機械的事故があっても三分の一は稼働してますよ、という話でした。

つまり、断水の時処理場排水をトイレ用水として再利用しようと考えてみてはどうでしょうか？など一例としてこんなことを、発想させ実現出来るものから備えを普及させて行くのが防災リーダーに求められた仕事かなどと思いつながら受講後の帰路につきました。

注意・貞山運河の水は塩分があるためトイレ用水に使用しないでくださいということでした。汚水処理は微生物により処理されているので塩分が入ると微生物が破解されてしまい処理出来なくなるということでした。トイレ用として利用出来るのは処理後の排出された自然水に近い排水だけだそうです。

善意バザーへの出品の

御協力に感謝申し上げます

大代地区公民館まつりが二月二十三(土)

・二十四日(日)に開催され、大代五地区

長会、大代地区コミュニティ推進協議会協

賛として善意バザーを出店させて頂き、館

内及び地区の住民の善意ある御協力を頂き

ました。出店氏名数は三十名、出店物品目

数は七十七品でした。衣類、食器、小間物他色々と出品して頂きありがとうございます。また。

売上金額は三万一千二百円でした。使途内訳として、二万五千元はコミュニティの運営資金として、六千二百円は社会福祉に寄附させて頂きました事を御報告申し上げます。

次年度も協議会として参加して、「まつり」を盛り上げたいと思っておりますので御協力をお願い申し上げます。

平成二十年三月吉日

大代地区コミュニティ推進協議会

防犯研修会に参加して

大代南 渡邊 正平

去る二月二十七日（水）、防犯研修会がありました。研修会では塩釜警察署生活安全課長佐藤正見氏より最近の犯罪発生現況等のお話がありました。

多賀城市においては犯罪発生数が全国的に減少傾向にあるとはいえ、十八年度においては県下市区町村では、犯罪発生率がワースト二位を記録しましたが、十九年度は皆様の協力によりかなりの改善がはかられています。

警察署では自転車、オートバイの盗難被害に遭わないため次の三点を守るよう呼びかけを行っています。

一 たとえ短時間でも二つ以上の鍵をかけましょう。

二 管理された駐輪場に止めましょう。

三 防犯登録やグッドライダー登録をしましょう。

		乗り物盗	自転車盗	オートバイ盗
多賀城市	H19	263件	195件	51件
	H18	449件	294件	134件
	減数	186件	99件	83件
	減少率	41.40%	33.70%	61.90%

集計例：乗り物盗の発生状況
その他万引き、ひったくり等街頭犯罪も減少しています。

多賀城市では「みんなの笑顔を守る防犯まちづくり」条例を二十年四月一日から施行します。多賀城市民、事業者、市がそれぞれの責務を果たしながら、協力して犯罪の防止に配慮したまちづくり施策を行い、みんなが安全と安心を感じて暮らすことのできる地域社会の実現をめざすことにしています。

私たちも地域のため自身のため大いに参加協力いたしましょう。

大代地区公民館まつりに思う

グループホーム貞山みよりの家

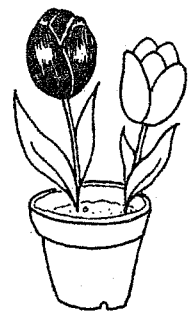
去る二月二十三・四両日に渡って大代地区公民館まつりが盛大に開催されました。

ホーム入居者の方々と心弾ませ二十四日（日）に見学に伺いました。館内一・二階の各種展示会場の一つ一つをのぞきますと「うん」の一声で、素人の域を遙かに超えた秀作そろいで、ここ大代地区には芸術家が沢山住んでいて文化レベルが高い所との強い印象を受けました。

我がホーム入居者もせん越ながら、年明けに入居者の皆さんがそれぞれの思いで、書きしるした中から五点ほど出店させて頂きました。

何かしら、地域の一大イベントに地域の一員として参加させていただいたというこゝとに対して、住民意識と誇りを強く感じました。

これからも、地域住民としての関わりを大切にこの大代での生活を図っていきたくと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



大代の歩み (二)

大代南 渡邊 巖

『大代の歩み』佐藤甚六氏の後を今月から私が続ける事になりました。

就いては、この稿はほとんど多賀城市史（近世以降）に拠ること、史実の説明と内容の関連で大代以外の近隣地域にも触れたこと、紙面の都合で年表と地図の掲載を省略し、時代範囲も近世から太平洋戦争の終わり頃までに限定した事を付記します。

一 『大代村』概観

村名の由来

天正年間の古文書には既に『大城村』の名が見えているが、村の古館に「豪族大木戸四郎太夫重信ノ居館」が存在した。所在地は、旧笠神村と大代村の境界の「大木戸」の辺りであった事から、「慶長」の年号（西暦一五九六年）以降までは大城村といっていたが、当時の徳川幕府の制度である一藩一城の決まりに遠慮した仙台藩から大代に替えられたといわれている（現・七ヶ浜町大木田との説も）。

では、仙台藩の命により安永三年に（一七七四）大代村から提出した『安永風土記』によって当時の我が村を覗いてみよう。

村内の集落

当時、御船入堀は既に開掘されて村の東部をほぼ南北に走り、その東側は中峰・橋

本・蝦夷穴・高原・枅形・鶉野、西側は雷神・舟場・山崎・元舟場・西原・小沢・銭神という小字名を持つ諸集落によって大代村は成り立っていた。 続く

ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

啓蟄や今日は胃力メラのむ日なり

七段の雛飾り終え祖母帰る

手間暇を掛けし釣り雛床の間に

逆縁の老の痛哭涅槃西風

自転車を押して春泥行き止り

笠神西 本郷 勝子

朝日さすそつと開き黄水仙

女三人春夕ぐれの海の宿

会いたくてきらきらさらの春の海

里山や陽気に誘われ露のとう

マニキュアの

ピンクの十指さくらまつ

笠神西 吉野 珠子

種蒔きや蔵王の峰の雪うさぎ

雛の日や白酒菜花酔いにけり

うららかな

細目いきいき切り込み雛

いぶし銀何を鼓舞するこぶしの華

飄々と雨降り暮のかすれ声

ふれあい短歌

大代西 藤田 遊子

初恋の君に逢ひたる 摩周湖の

愛のひとこと 花と散りたり

夕映えの 吉野の山の 桜花

見渡す空に 雲ひとつなし

蕉翁の 涙流せし 壺の碑を

幾春かけて 花ぞ慰む

大代地区公民館だより

〔平成二十年度五月六月開講

講座受講生募集〕

◆申込受付／四月十六日（水）

午前九時から大代地区公民館

体育室にて受付開始

◆来館の上直接お申し込み下さい。

（電話での受付は致しません）

◆定員になり次第締め切らせてい

ただきます（先着順）

◆開講講座の詳細については、広

報多賀城四月号をご覧下さい。

問／大代地区公民館へ

☎ 36418442